

# Insights Filters (フィルター) の概要

## 概要

Insightsのフィルターを使用すると、データセットの小さな部分を表示して分析できます。

ブラウザ、デバイス、ジオロケーション、ユーザーなどのプロパティ、ならびに一般的なイベント (WalkMeイベント、[追跡イベント](#))、[分析プロパティ](#)、[カスタムユーザー属性](#)などの追加のデータタイプを使用して、フィルターを作成して保存し、後で再利用できます。

フィルターは、Insightsのほとんどのページでサポートされており、一度適用されると、すべてのデータが再計算され、定義されたルールに一致する結果のみを表示します。

### 近日リリース - 新しいフィルター

10月に、簡素化されたフィルターメカニズムがInsightsに導入されます。これにより、ユーザーは、選択した日付範囲のフィルタールール条件に一致するすべてのセッションからのデータを見るのではなく、選択した日付範囲のフィルタールール条件に一致するイベントからユーザーのデータを見ることができます。[詳しくはこちら](#)

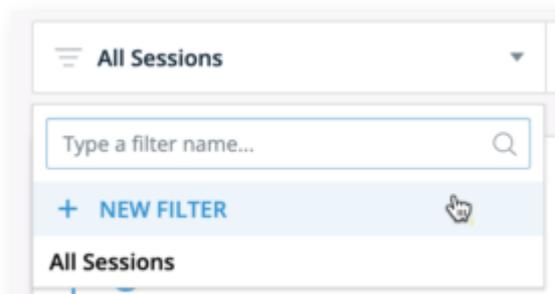
## フィルターの作成方法

注：

利用可能なフィルタールールは、最大20です。

新しいフィルターを作成するには、以下の手順に従ってください。

1. フィルタードロップダウンをクリックします

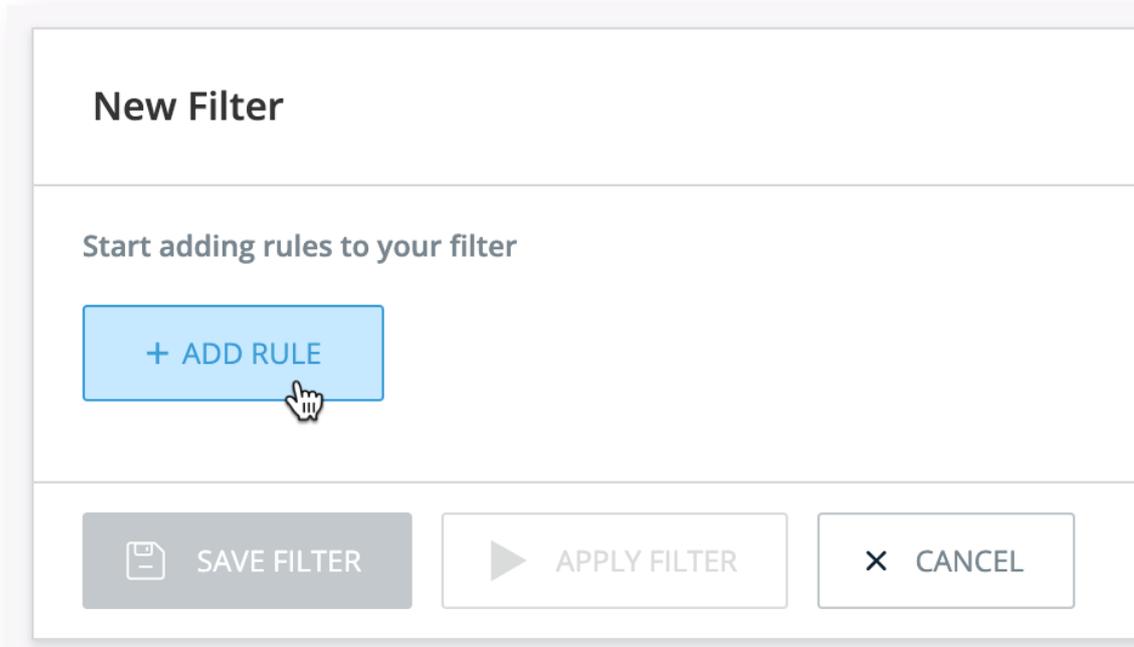


2. **[+ NEW FILTER**

**(新規フィルター)]** をクリッ

クします

3. **+ADD RULE** (ルールの追加) をクリックして、フィルターへのルールの追加を開始します
  - ルールは即座に適用されるため、追加しながらページのレポートにフィルタールールが適用されていることを確認できます。



4. 以下からルールタイプを選択します :

### New Filter

Start adding rules to your filter

Enter filter name

	EVENT TYPES
<div style="background-color: #007bff; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px; display: inline-block;">⚡</div> EVENTS	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">🌐</div>           Page View         </div>
<div style="background-color: #007bff; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px; display: inline-block;">👤</div> USER	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">⚡</div>           General Events           <span style="margin-left: auto; color: #007bff;">&gt;</span> </div>
<div style="background-color: #007bff; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px; display: inline-block;">📺</div> SESSION	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">⚡</div>           Tracked Events           <span style="margin-left: auto; color: #007bff;">&gt;</span> </div>
<div style="background-color: #007bff; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px; display: inline-block;">📍</div> LOCATION	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">🗨️</div>           WalkMe Events           <span style="margin-left: auto; color: #007bff;">&gt;</span> </div>
<div style="background-color: #007bff; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px; display: inline-block;">🖨️</div> DEVICE	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">API</div>           Custom Events         </div>

EVENT (イベント) — 特定のイベントが発生した、または発生しなかったセッションでフィルターにかけます

- USER (ユーザー) — 特定のユーザーやユーザープロパティのセッションでフィルターにかけます
- SESSION (セッション) — セッションの参照元、セッションで閲覧されたURLの期間や数など特定のプロパティをもつセッションでフィルターにかけます
  - 注 1 セッションフィルターは、少なくとも1つのセッションがフィルター条件に適用される結果を返すことで動作します。
  - セッションフィルターを使用する場合、少なくとも1つのセッションが選択された条件に適用されると、ユーザーが表示されます。つまり、ユーザーごとに複数のセッションがある場合、1つで選択した条件を満たし、別のセッションで満たしていない場合、数値はユーザーの合計数との計算が合わなくなります。
- LOCATION (場所) — 国などの場所タイプのプロパティをもつセッションでフィルターにかけます
- DEVICE (デバイス) — ブラウザーなどのデバイスタイプのプロパティをもつセッションでフィルターにかけます

5. フィルター演算子と値を選択します (オプションは選択したプロパティによって異なります)

**New Filter**

Show results from at least one session where:

Occurred | Smart Walk-Th... | has any value

+ ADD RULE

has any value  
Smart Walk-Thru ID  
Smart Walk-Thru Name  
Initiator

SAVE FILTER | APPLY FILTER

ヒント：ブランチアイコンを使用して、フィルターにand /または条件を追加します。

**New Filter**

Show results from at least one session where:

Country | is | United States

OR

is | Canada

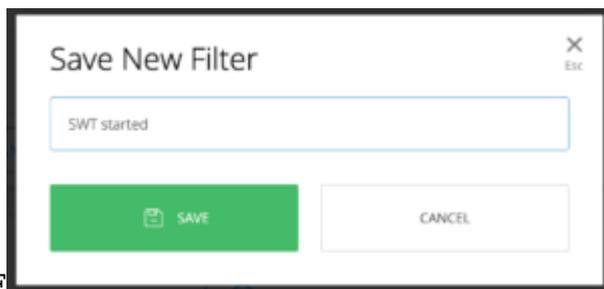
+ ADD CONDITION

AND OR

+ ADD RULE

SAVE FILTER | APPLY FILTER | CANCEL

6. フィルター名を入力します



7. [SAVE] (保存) をクリックします

これで完了です。保存済みフィルターはレポートページの上部のフィルターリストに表示されます。適用するには、どれかをクリックします。フィルターを選択すると、それがその後閲覧するすべてのレポートタイプのページに適用されます。

ヒント：

- 保存済みフィルターは、WalkMeエディタのWalkMeセグメンテーションを使って作成されたセグメントとは異なります。
- 保存済みフィルターはアナリティクスのターゲティングに使用され、すべてのWalkMeアプリページでのフィルター処理に使用できます。
- Insightsでフィルタードロップダウンメニューが表示されるすべてのページ（概要ページやアプリページなど）で、新しいフィルターを作成できます。
- セッション再生ページでセッションをフィルターすると、日付ピッカーがセッションが終了した時刻（セッションの最後のイベント）に適用されることに注意してください。

## フィルターに演算子が含まれる / 含まれない

- 含まれる / 含まれない演算子は、ユーザーフィルターで使用できます - ユーザー名、ユーザー属性、セッションフィルター - 分析プロパティ：名前、ステータス、タイプ、情報ロール
- Contains / Does not contain演算子で「\*」を使用しない場合、指定したテキスト（フレーズの最初、最後、または途中）を含むすべての値が結果として返されます。
- [\*]を使用する場合、[含まれる]は、\*の前 / 後 / 間の文字列を含むすべての文字列を返します。

## In list / Not in list (リスト内にある / リスト内にはない) のフィルター演算子

- [リスト内 / リスト内にはない]演算子は、ユーザーフィルター - ユーザー名、ユーザー属性、セッションフィルター - 分析プロパティ：名前、ステータス、タイプ、情報ロール、および場所フィルター（国、地域、都市、およびIP）で使用できます。
- リストフィルターでは、値のリストを検索し、リスト内の値の少なくともひとつが見つかった場合はTrueになります
- リスト内の値が見つからなかった場合、[リスト内にはない]フィルターはTrueです。
- 例：
  - リスト内のユーザー名（“David” / “John” / “Dana”）は、David / John / またはDanaのいずれか

のデータを返します。

- リスト内にはないユーザー名（"David"、"John"、"Dana"）は、David、JohnまたはDana以外のすべてのユーザーのデータを返します。

## Insightsの収集データによるフィルター処理

下の表に、追跡データのすべてのタイプを一覧します。有効にしたInsightsの収集レベルによっては、以下のフィルターの一部が表示されない場合があります。

カテゴリ	サブカテゴリ
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般的なイベント</li> <li>• WalkMeイベント</li> <li>• 追跡イベントダッシュボード</li> </ul>
ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• User Name（ユーザー名）</li> <li>• アカウント名 – セッションで受信した最後の値に基づく</li> <li>• ユーザーID</li> <li>• 最初に見たユーザー</li> <li>• 最後に見たユーザー</li> <li>• ユーザーセッション間の平均時間</li> <li>• 平均ユーザーセッション時間</li> <li>• 統合プロパティ</li> </ul> <p>注：次のフィルターは、ユーザーIDが一意的なユーザー識別方法で設定されている場合のみ使用できます：最初に見たユーザー、最後に見たユーザー、ユーザーセッション間の平均時間、平均ユーザーセッション時間、統合プロパティ。</p>
セッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 参照元</li> <li>• セッション期間</li> <li>• URLカウント</li> <li>• カスタム分析属性（有効になっている場合、セッションで受信した最後の値に基づく）： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Name</li> <li>○ ステータス</li> <li>○ タイプ</li> <li>○ 情報</li> <li>○ ロール</li> <li>○ セッションID</li> </ul> </li> </ul>
場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市</li> <li>• 国</li> <li>• 都道府県/地域</li> <li>• IPアドレス</li> </ul>

デバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デバイス</li> <li>• ブラウザー</li> <li>• オペレーティングシステム</li> </ul>
------	---

## 技術的な詳細

- 保存済みフィルターは、WalkMeエディタの[WalkMeセグメンテーション](#)を使って作成されたセグメントとは異なります
  - これらは、ターゲティングに使用され、すべての[WalkMeアプリページ](#)でのフィルタリングにも使用できます
- Insightsでフィルタードロップダウンメニューが表示されるすべてのページ（概要ページやアプリページなど）で、新しいフィルターを作成できます
- セッション再生ページでセッションをフィルタリングする場合、日付ピッカーはセッションが終了した時刻（セッションの最後のイベント）に適用されます
- フィルターごとのルールの総数は20に制限されています
  - ルール21を追加しようとする、制限についての通知が出ます
- 「リスト内」および「リスト内にはない」タイプのフィルターで利用できる値の最大数は100です
- セッションからセッションに変更できる属性をフィルターにかける場合、最新の値は必ずしもデータに反映されません
  - たとえば、広い日付範囲のユーザーロールでフィルターをかける場合、以前は管理者だったが、その後ロールが変更されたユーザーが、結果に表示される場合があります
  - **ヒント**：これを回避するには、レポートビルダーを使用して、最新の値のみを反映する寸法を使用できます

## 新しいInsightsフィルター – 近日リリース

デフォルトで、ユーザーが、セッションに基づく現在のデフォルトではなく、ユーザーページのユーザーやスマートウォークスルーページのスマートウォークスルーなどの希望のエンティティに基づいて容易にフィルターにかけることのできる簡素化されたフィルターメカニズムが導入されます。

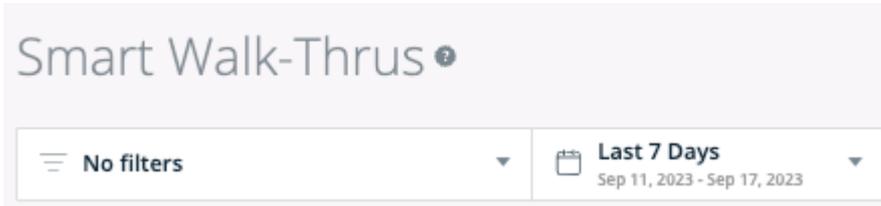
この新しい方法では、選択した日付範囲のフィルタールール条件に一致するすべてのセッションからのデータを見るのではなく、選択した日付範囲のフィルタールール条件に一致するイベントからユーザーのデータを見ることができます。

それでもセッションでのみフィルターをかけたい場合は、新しい**セッションモード**のトグルを使用してそれを行うことができます。

### 変更点

- デフォルトのフィルターは「フィルターなし」になります

- 以前は、「すべてのセッション」でした



- 新しい「セッションモード」トグルも同様に表示され、デフォルトで「オフ」に設定されるようになります



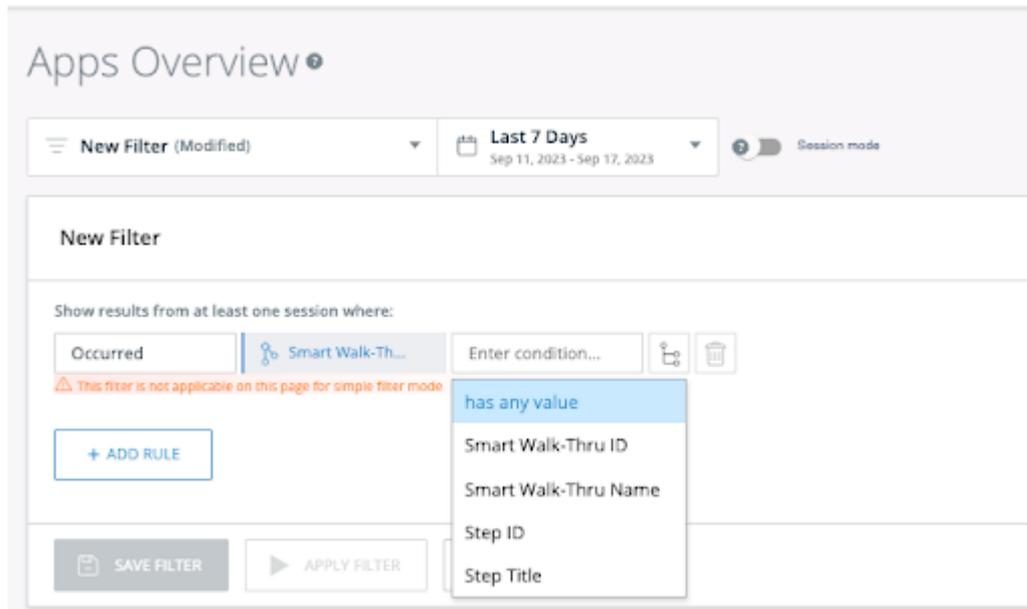
- 新しい「すべてのアイテムを表示」トグルがサマリーテーブルに表示され、デフォルトで「オフ」に設定されます

#### Smart Walk-Thrus Summary

Show all items

Name	Status	Users Played
<a href="#">Reminder to Submit a Reference in Stage 5</a>	Published	216
<a href="#">Stage / Status Walk-Thru</a>	Published	87

- フィルターは、現在と同様に、あるページから別のページに移動するときに、常にユーザーと一緒に移動します
- 新しいソースページ（ファネルとセッションページ）でサポートされていない限り、セッショントグル状態は、あるページから別のページに移動しても、ユーザーと一緒に残ります
- セッションモードがオフになっている場合、特定のページから他のページに移行した後、特定のページでフィルターが適用されない場合に表示されます。



## 技術的な詳細

### セッションモードの制限

- セッション再生ページでセッションをフィルターにかける場合、日付ピッカーはセッションが終了した時刻（セッションの最後のイベント）に適用されます
- セッションからセッションに変更できる属性をフィルターにかける場合、最新の値は必ずしもデータに反映されません
  - たとえば、広い日付範囲のユーザーロールでフィルターをかける場合、以前は管理者だったが、その後ロールが変更されたユーザーが、結果に表示される場合があります。
  - ヒント：これを回避するには、レポートビルダーを使用して、最新の値のみを反映する寸法を使用できます。

### 全般

- 以下のフィルターはすべてのページでサポートされています。セッションとは無関係に見えるかもしれませんが、これらは別のセッションモードで異なる結果を生成します。
  - ページビュー/URLベースフィルター
  - デバイス/場所フィルター
  - ユーザー属性フィルター